光と色を活用した病害虫防除研究ワークショップ

光環境制御による自然共生型農業への挑戦

＜開催趣旨＞

従来までの天敵の利用のみではアザミウマやコナジラミのような微小害虫類に対して効果のある減農薬技術の開発は困難であった。しかしながら、近年の光生態学的な害虫防除研究から栽培場所の光環境や農業資材の色彩が上記のような難防除性の微小害虫行動に強い影響を与えることが明らかにされ、光と色を活用した新たな病害虫防除技術の開発への期待が高まりつつある。

本ワークショップは上述のような研究を活発に展開している内閣府の主催する戦略的イノベーション創造プログラム（「次世代農林水産業創造技術」・『持続可能な農業生産のための新たな総合的植物保護技術の開発』）における「視覚イメージを利用した新規害虫防除法の開発」ユニット及び「紫外光による病害虫防除技術の確立と誘導抵抗性の関与機構の解析」ユニットの中心的な研究者を招待し、当該分野における最新の知見について紹介を頂き、今後の北海道農業における減農薬・脱農薬、持続的農業の発展、及びその国際競争力の強化に資することを目的とする。

日時：平成28年2月23日（火）
13:15～16:55 （開場12:45～）
場所：とかちプラザ　2F　視聴覚室
北海道帯広市西4条南13丁目1
電話:0155-22-7890

ワークショップ参加費無料：定員160名
交流会参加費5000円：定員80名

招待講演　13:20～16:25

1.「光と色を使った農作物害虫防除の最前線」
農業生物資源研究所・研究ユニット長　霜田政美　氏

2.「“色”による害虫管理：赤および黄系色を利用した微小害虫防除技術の開発」
京都府農林水産技術センター・主任研究員　徳丸 晋　氏

3.「“光”による害虫管理：赤色LED照射によるアザミウマ類防除技術の開発」
静岡県農林技術研究所・主任研究員　石川隆輔　氏

4.「“光”による植物抵抗性誘導：紫外光による植物病害防除技術の開発と商品化」
兵庫県立農林水産技術総合センター・主席研究員　神頭武嗣　氏

主催
（国）農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター

参加申込み・問い合わせ先
北農研・主任研究員・池田成志
〒082-0081
北海道河西郡芽室町新生南９線４番地
TEL：0155-62-9276　FAX：0155-61-2127
E-mail：sikeda67@affrc.go.jp